

社会モデルを学ぶ「心のバリアフリー」研修のご案内

精神障害編ができました！

2020年の「おもてなし」実践に必須。
ぜひこの機会に受講して下さい！

2020年のオリンピック・パラリンピックに向けて政府なども共生社会を目指して「心のバリアフリー」を推進する取組を始めています。しかしながら、「心のバリアフリー」という概念をどのようにとらえ、どう実践に結び付けていったら良いのでしょうか。

この研修では、外見からわかりにくい「精神障害」を切り口として、いつもの視点とは違う角度から障害をとりまく社会について目を向けることで、自然と「障害の社会モデル」の考え方を習得できます。

障害当事者が講師となり、障害当事者の視点で作成した動画によって具体的なシーンを見ながら、グループ討議を通じて受講者は理解を深めることができます。

「障害は個人にあるのではなく環境にある」という「障害の社会モデル」的な視点を身に付けることが、「心のバリアフリー」の具体化につながります。

【特長】

①外見からわかりにくい精神障害を切り口に障害の社会モデルの考え方を習得できます！

- 動画コンテンツを活用することで、現実に近い状況を再現する。
- 障害当事者との対話を通じ、障害者が遭遇している問題について、理解を深める。

②自ら考える（発見型）で、「社会モデル」の考え方を学び、行動へと結びつけます！

- 問題の発生要因と解決策について、自らの作業、グループ討議を通じ、発見型で考えることが、理解を深め、行動へと結びつけます。

③車椅子や視覚障害の介助の知識のある方も、全くの初心者でも受講が可能です！

- 既にボランティアの経験がある方でも、全くの初心者でも「社会モデル」が学べます。
- 既存の研修や企業内研修にプラスして実施が可能です。



動画のシーンより



グループ討議を通じた発見型研修

「心のバリアフリー」研修 事務局

一般財団法人国土技術研究センター／公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

※2つの財団が共同事務局となり、障害当事者、有識者等の参加を得て協議会を構成し、研修プログラムの企画、動画作成、実施に取り組んでいます。

《基本プログラム》（全 60 分）

導入 趣旨説明 (5分)	・研修の目的:障害の社会モデルの視点 ・障害の社会モデルへの導入 ・“障害”とは何かについて改めて考えてみる
ステップ1 動画:シーン1 視聴 個人作業とグループ 討議 (10分)	・動画コンテンツ①「横にならないでください」を上映(約2分) ・電車のシートに横になっている男性の行動について、本人はどのようにすればよかったか、車掌はどのように対応すればよかったのか、個人個人で考えてみる。 ・グループ討議にて、意見を出し合うことで、様々な見方(視点)があることに気づく。
ステップ2 グループ意見の発表 (10分)	・発表された他のグループの意見を聞くことで、自分のグループ以外の多様な視点があることを学ぶ。 ・発表等を通じた講師との意見交換から、「シートに座る」という社会のルールの背景について目を向けていく。
ステップ3 動画:シーン2視聴 グループ討議 (10分)	・動画コンテンツ②「体調 悪いんですか」を上映(約2分) ・動画コンテンツ①と同様にグループ内で討議を行い、動画コンテンツ①と何が違うのかについて、グループで意見を出し合う。
ステップ4 グループ意見の発表 (10分)	・動画コンテンツ①との変化について、他のグループの意見を聞くことで、共通の認識を獲得する。 ・講師との意見交換から、電車では横になってはならず、「シートに座る」という社会のルールについて目を向けていく。
まとめ 補強、結びと閉会 (15分)	・社会モデルの視点から「電車で横になっている」ことに対して、何をすべきなのかについて振り返ることで、社会モデルの視点(考え方)を獲得する。 ・多様な人がいることを前提にした社会のありようを考え、個人個人の対応や行動する動機づけへと結び付ける。

※通常 60～120 分の研修時間を想定しています。時間のご相談承ります。

※研修効果をあげるため 1 回の研修は 30 名程度とします。

※会議室をご提供下さい。

※必要に応じて手話通訳など情報保障の費用を申し受ける場合があります。

○研修実施費用

研修実施場所と規模により要相談

(内訳:会場がある場合→講師謝金、交通費実費、コーディネート費、消耗品)

○受講のご相談

研修の開催をご希望される方は下記事務局にご連絡下さい。

また、他所で実施している研修を見学してみたいという方はご一報ください。

○社会モデルを学ぶ「心のバリアフリー」研修～精神障害編～事務局

問い合わせ窓口 kokorobf@jice.or.jp

一般財団法人国土技術研究センター 都市・住宅・地域政策グループ

TEL 03-4519-5003 伊藤、沼尻 <http://www.jice.or.jp>

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団 バリアフリー推進部

TEL 03-3221-6673 担当 松原、澤田 <http://www.ecomo.or.jp/>

社会モデルを学ぶ「心のバリアフリー」研修～精神障害編～

検索

